

石川さゆりさんとギタリストの 完全同時録音でこそ生まれた 唄の情感と空気感に鳥肌がたつ!

石川さゆりさんの声の本質に迫る楽曲を聴きたい!という、読者諸兄からの熱い要望に応え、このたびステレオサウンドは、石川さゆりさんご本人、テイチクレコード、ホリプロ、ミキサーズ・ラボの特別な許諾とご理解の協力を得て、前作「津軽海峡・冬景色」「風の盆恋歌」に続き、石川さゆり40周年記念アルバムからステレオ定番選曲「飢餓海峡」ギターバージョン」とアルバムX-Cross「石川さゆりから「花火」の2曲だけをカップリングしたマスターCD-Rの特別頒布を決定した。

このディスクに収録されている「飢餓海峡」ギターバージョンのオリジナルマスターは、1994年に初録音したハーフィンチのアナログマスターテープである。一方、カップリングした「花火」は、2012年に録音された88.2kHz/24ビットのデジタルマスターである。

前作同様、企画の段階からご尽力いただいているのが、永年に渡り石川さゆりさんのレコーディングを手掛けている音作りのプロ集団「ミキサーズラボ」会長の内沼映二氏である。これまでに数多くのヒット作品の録音に携わってきたサウンドエンジニアであると共に日本音楽スタジオ協会の会長も務める。その内沼氏を石川さゆりさんのレコーディング現場、東京・西麻布にある「LAB recorders」を訪ねてお話を伺った。

「世の中、歌が上手な人は多いですが、なかには味も素っ気もない唄もあります。やはり唄は、聴く人の心にどんどん沁み込んでいく「歌心」が大切だと思います。歌心をもった方は少ないです。さゆりさんは数少ない「歌心」を大切に一人だと思えます。今回のスタジオマスターCD-Rでもその良さをふんだんに感じ取っていただけると思えます。」

石川さゆりさんは「歌心」とも一つ、「空気感」をひじょうに大切にされています。一般的なレコーディングはカラオケを録音した後に唄を入れるのですが、さゆりさんの場合はカラオケを録音する時から必ずミュージシャンの方々と一緒に同時録音をしています。

ミュージシャンと同じ空気感の中で一緒に唄うことで、さゆりさんの楽曲に対する気持ちやどどん高揚していくのがミキシングルームでもわかります。その「歌心」がミュージシャンにも伝わり、演奏もますます変化し、歌と演奏が融合した時にスタジオ全体が一体化した空気感に満ち溢れ、その時のサウンドはもう鳥肌ものです。これがそが本来の音楽なのだつくづく感じます。

石川さゆりさんの歌声はセリフっぽいニュアンスに聴き取れると思います。これはさゆりさんが詞の内容とその表現の在り方を常に深く考え、「唄」を研究していることにあります。レコーディングに立ち会われた作家の先生が、ご自身の詞のイメージを超えるさゆりさんの「唄」の表現に幾度となく驚かれたこともありました。

アーティストの方はやりたがりません。オケが唄をサポートしてくれたりマスキングもしてくれない。歌の善し悪しがはっきりと見えてしまうからです。

このディスクの一曲目「飢餓海峡」ギターバージョンは、ギターリストとさゆりさんの完全同時録音です。マスキングされる音がないギター一本の伴奏ですから、さゆりさんの肉声のニュアンスが一言一言、生々しく聴きとれるはずですよ。あの意味でこの声のセクシーさと唄の情感を存分に感じ取っていただければよいと思います。ハイエンドシステムで聴くことでそがより明確に再現されると思います。

続く二曲目の「花火」は、マンドリン、ギター、ピアノ、カホーンといった楽器編成ですが、ここではこれらの楽器サウンドの透明感を存分に感じ取っていただければと思います。因みに配置された3本のギターのマイクは、左とセンターのギターにノイマンU67を、右のギターにはオーディオテクニカのAT4080を使いコンデンサー型トリポッド型の異なるサウンドの表現を演出しています。リードギターはポルトガルギターを使っています。

また、このアルバムからは新たに、いままでの96kHz/24ビット録音から88.2kHz/24ビット録音へと移行しています。どうやらCDクオオア

リタイとなる44.1kHz/16ビットヘタダウンロードすることを考えると相性が良いように感じるのです。これは私の聴感上の判断です。

今回の二曲は、歌い直し無しの完全同時録音の歌を使っています。いくらオケだけを同時録音したとしても、カラオケに後で歌だけを入れられたら、ピッチや音程そして譜割りなど諸面的にはしっかりするものの、やはり比べてみると心に伝わってくるのは歌と完全同時録音した時の空気感ある歌です。これは、さゆりさんの体に沁み込んでいる独特の「さゆりの世界」なのかも知れません。

完全同時録音ならではの一体感とその空気感を「自身のシステムで存分に感じ取っていただけたいと思います」と語っていただいた。さらに内沼氏から「このことは前



東京・西麻布 LAB recordersレコーディング・スタジオにて、お話を伺った株式会社ミキサーズ・ラボ 会長・内沼映二氏。

Stereo Sound Flat Transfer Series
石川さゆり「飢餓海峡〜ギターバージョン〜」[花火]
定価 8,400円(税・送料込み)

プロ用マスターCD-R[特別限定版]

メディア:太陽誘電社製マスター専用CD-R
フォーマット:44.1kHz/16bit CD-DA
ディスク番号:SSCDR-004ステレオサウンド
発売元:株式会社ステレオサウンド

※お取り扱い、弊社ウェブサイトおよび通信販売のみ。
お届けは2013年9月中旬を予定しております。

作の時にもお話しましたが、通常CDは、ごく一般的な再生装置でもよく聴こえるようにとオーバーデレクション的な音に調整されているものが多いのですが、このCD-Rはダイナミックレンジをオリジナルのままに、ボーカリストや演奏者の抑揚をありのままに再現していただきたいので、入力レベルを強調することはしていません。ですから通常盤のCDと聞き比べた場合にはレベルが低くなっていることをご理解していただき、ご自身の最適な音量レベルで楽しんでいただくことをお願いしておきます」と話していただ

いた。

本作も前作同様、通常の市販CDを制作する際に行なわれるE/Qやコンプレッサーをかける等のマスタリング作業工程は一切通していない。そのためオリジナルマスターにもつとも近いディスクであることに相違はない。

さらに、採用しているCD-Rは、プロオーディオの分野で高い品質を認められている太陽誘電社製のマスター専用CD-R(TYCD-R80SPMPT)である。同社製のマスター専用CD-Rの材料(ポリカーボネート)は一般市販のCDと同じだが、エラーレートが極めて低い(最高グレードのAAA)のが最大の特徴として挙げられる。

高い品質管理を経て生産されている同社製のプロフェッショナルオーディオのマスター専用CD-Rに手間や時間をかけてコストもかかるが、最高の品質を維持すべくレコーディングスタジオのエンジニアの手で一枚一枚が専用のプロフェッショナルライター(Sonic Studio CD1)を通して丁寧に書き込みがなされている。しかも、書き込んだ後にすべての盤をエラーチェックに通し、そのグレードを確認している。

今回の「飢餓海峡」ギターバージョン」と「花火」は、前作と同じく決して聴くことのできなかつたオリジナル・スタジオ・マスターである。

オーディオファイルの感動を誘う大切なファレンスディスクの一枚として末永く愛聴いただきたい。

X-Cross- 石川さゆりアルバムより
花火
作詞者: 山崎ハコ
作曲者: 山崎ハコ
編曲者: 安田裕美

特別限定盤

Studio Master Recording
Stereo Sound Flat Transfer Series

石川さゆり40周年記念CD BOX

石川さゆり40周年記念アルバムより
飢餓海峡〜ギターバージョン〜
X-Cross- 石川さゆりアルバムより
花火

石川さゆり

Stereo Sound Flat Transfer Series

石川さゆり

予約受付中
2013年9月中旬発売

収録曲

石川さゆり 40周年記念アルバムより
飢餓海峡〜ギターバージョン〜
作詞者: 吉岡 治
作曲者: 弦 哲也
編曲者: 南郷達也

X-Cross- 石川さゆりアルバムより
花火
作詞者: 山崎ハコ
作曲者: 山崎ハコ
編曲者: 安田裕美

株式会社ステレオサウンド 販売部 〒106-8661 東京都港区元麻布3-8-4
TEL03-5412-7887 / FAX03-5412-7897 <http://store.stereosound.co.jp>
ご予約は、当社ホームページよりお申込みください。なお、本誌綴じ込みの郵便振替用紙でのお申込みも可能です。
通信欄に、商品名と購入枚数をご記入の上、購入代金をお近くの郵便局よりお振込ください。
商品のお届けは2013年9月中旬を予定しております。

ステレオサウンドの出版物、CDソフト情報などをいち早く発信しています。 @ss_sales facebook www.facebook.com/stereosound.publishing